

くにたち 公民館 だより



発行
国立市公民館
 〒186-0004
 国立市中1-15-1
 ☎ 042-572-5141
 FAX 042-573-0480
 休館日：毎週月曜日

12月より始まる連続講座 参加者大募集！

ポスト「3.11」 社会のカタチ 私たちのオモイ

—東日本大震災・原発災害から1年半、未来に向けていま学ぶ—

震災から私たちは何を学ぶのか、暮らしの視点から考えます。くにたち発・連続講座もうすぐ開催！



震災直後の被災地を映した映画『無常素描』(第5回)

東日本大震災の発生は、津波による甚大な被害に加え、広範囲かつ後世に残る影響を与える原発事故を引き起こし、人々のいのちや暮らしを奪い、また脅かしました。あれから1年半。原発災害は現在も収束が見えないなか、非日常を生きざるをえない被災地と「何事もなかった」ように日常を生きる被災地以外は、別々の世界に切り離されているかのようでもあります。

しかし、私たちは今こそ震災の経験に学び、今後の社会と地域を考えていく必要があるのではないのでしょうか。

そこで公民館では「3・11」をめぐる各テーマを市民がじっくり

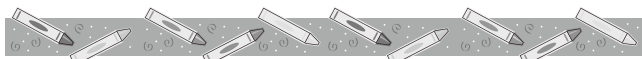
回	日時	テーマ	講師
1	12月1日(土) 夜7時～9時	3.11から歩き、見て、考えたこと ～東北学の視点から～	赤坂 憲雄(学習院大学、 福島県立博物館館長)
2	12月22日(土) 昼2時～4時	被災地の見えざる ジェンダー問題とその支援	竹信 三恵子 (和光大学)
3	1月19日(土) 昼2時～4時	私たちの社会とエネルギー ～歴史の理解と未来への想像力～	相川 高信 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)
4	2月9日(土) 昼2時～4時	放射線の健康リスクと対策を理解する	島田 義也(独立行政法人 放射線医学総合研究所放射線防護研究センター)
5	2月24日(日) 昼2時～4時	シネボックス CINEVOX & シネトーク ドキュメンタリー『無常素描』	大宮 浩一 (映画監督)
6	3月16日(土) 昼2時～5時	今後の大地震にどう備えるか ～立川断層と防災の コミュニティづくり～	山崎 晴雄 (首都大学東京)、 国立市役所防災課課長
7	3月30日(土) 昼2時～5時	災害ボランティアの課題と可能性 ～くにたち市民にできること～	野元 弘幸 (首都大学東京) ほか

考えていけるような連続講座を企画しました。毎回さまざまな角度から問題や課題を捉え、震災から私たちは何を学ぶのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

ぜひご参加ください！

申込み 11月13日(火)朝9時～
公民館 ☎(572) 5141

とき 左の表参照。全7回
ところ 公民館 地下ホール
定員 50名(先着順。全回参加できる方優先)



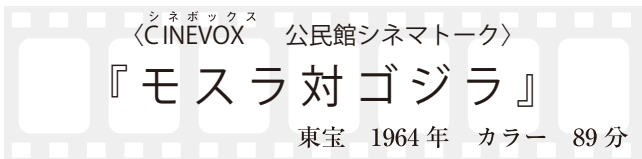
親子で遊ぼう・考えよう〈第4回〉

音楽に合わせて アクションペインティング!

ホールに広がる生演奏の音楽に合わせて、親子で楽しく表現しましょう。大きな紙や段ボールなどにアクションペインティング! 音に身をまかせて、紙を破ったり叩いたりして、ふだんはなかなか体験できない音の感じ方や表現を楽しみます。絵の具を使いますので、保護者の方も汚れてもよい服装でご参加ください。

講師 高橋 ナツキ (東京学芸大こども未来研究所)
平林 秀夫 (シンセサイザー奏者、絵描き)
カワイ・ヒトシ (パーカッション奏者)

とき 11月24日(土) 朝10時~12時
ところ 公民館 地下ホール 持ち物 飲み物
対象 子ども(3歳~小学生)と保護者 20組(先着順)
申込先 11月7日(水) 朝9時~
公民館 ☎ (572) 5141



シネボックス 公民館シネマトーク
『モスラ対ゴジラ』
東宝 1964年 カラー 89分
監督 本多猪四郎 特技監督 円谷英二 音楽 伊福部昭
出演 宝田明、星由里子、ザ・ピーナッツ、小泉博、
佐原健二、藤木悠、田崎潤、藤田進ほか



荒ぶる怪獣王ゴジラ! 迎え撃つは平和の守護神モスラ!
二大怪獣が陸・海・空を揺るがし、世紀の大激闘!
日本が世界に誇る特撮怪獣映画の決定版!

《映画の話》「特撮映画に出演して」

お話し 加藤 茂雄 (俳優)

今回上映する『モスラ対ゴジラ』や『宇宙大戦争』など数多くの特撮映画に出演されている俳優の加藤茂雄さんに、当時の撮影現場の話などをお聞きます。

とき 11月25日(日) 昼2時~4時半
ところ 公民館 地下ホール
定員 85名(当日先着順)
*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。



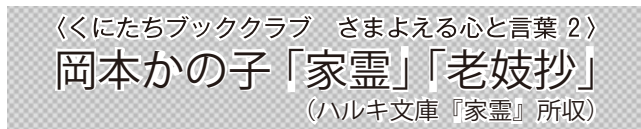
お話し 中村 士 (帝京平成大学)

昨今、金環日食や金星の目面通過など臨場感あふれる天体ショー、星出彰彦飛行士ソユーズ打上げや小惑星探査機「はやぶさ」帰還など宇宙への関心が高まっています。

惑星科学や天文学史を研究されている中村さんは、監修書で、日本人初の実測による星図『天文分野之図』を作った天文暦学のパイオニア「渋川春海」から『大日本沿海輿地全図』の測量天文家「伊能忠敬」までの17世紀以降の江戸時代の天文学者たちを紹介されています。鎖国政策下の閉ざされた日本で、限られた書物から知識を蓄え、手探りで測定器具を自作し、昼夜をいとわない観測で実証を積み重ねていった様子がかげえまます。

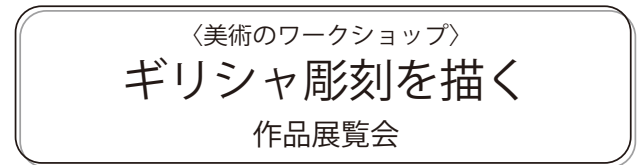
今回は、優れた洞察力と直感に満ちあふれた当時の天文学者に思いを馳せて、その魅力を探っていきます。
〈中村さんの本〉『江戸の天文学』(監修、角川学芸出版)、
『宇宙観5000年史』(共著、東京大学出版会)ほか多数

とき 11月24日(土) 昼2時~4時
ところ 公民館 3階講座室 *ご自由においでください。



お話し 小平 麻衣子 (日本大学・日本近代文学)

とき 11月8日(木) 夜7時半~9時半
ところ 公民館 3階講座室
申込先 公民館 ☎ (572) 5141
*今回は12月13日(木) 萩原朔太郎『猫町』(岩波文庫)です。



6月から10月まで、画家の降矢洋子さんを講師に実施した「ギリシャ彫刻を描く」の展覧会を行います。講座では、4つの彫刻を水彩やパステルなど各自好きな画材で描きました。



モデルはすべて白い彫刻ですが、皆さんが思い思いの色を付けて、雰囲気異なるすてきな作品ができあがりました。ぜひご覧ください!

期間 11月11日(日) 昼1時
~11月18日(日) 昼3時(月曜休館)
ところ 公民館 1階市民交流ロビー

ひろば

(4ページにもあります)



「朗読」と「うたごえ」

秋の午後のひとときを幸せを呼ぶ「朗読」と「うたごえ」で楽しみませんか。私たちは年に一度地域の方々との交流を目的にこのよう催しをしています。入場無料。

日時 11月17日(土) 昼2時～4時
場所 KFまちかどホール
連絡先 すてつき (576) 32006

「公民館に入ったら世界が広がってしまった。」利用団体発表会

講座から息長い学びの会、困難があっても活動できる、まちづくりの活動が始まった…。5団体の報告と意見交換。公民館を守る会
日時 11月23日(金) 昼2時～4時半
場所 公民館 地下ホール
連絡先 杉原 (577) 0124

3・11後 みんなのアピール展

一人ひとりのさまざまな思いが込められたアピールグッズ、ポスターなどを展示します。ピースウィーク イン くにたち
日時 11月10日(土) 夜5時まで
場所 公民館 1階ロビー
連絡先 藤井090 (475) 0326

第173回くいしんぼクラブ

ベ・ソヨンさんの韓国料理 キムチポックムとホトクを教えてください。材料費800円。ゴミ袋とふきんをご持参ください。
日時 11月11日(日) 昼1時～
場所 福祉会館 3階料理講習室
連絡先 八宮 (571) 1007

パソコンファミリー会員募集

パソコンの基礎から初級、中級レベルまで習得するサークル。各自ノートパソコン持参。趣味や就職、転職にも対応する学習内容。ともに楽しく学びませんか。
日時 第一～第三(木)朝10時～
場所 公民館3階講座室ほか予定
連絡先 矢島 (525) 5429

パソコン「Study」クラブ

マイクロソフト「ワード2007・2010」を使用して「作って覚える」クラブです。対象は、マウス操作・文字入力ができ、ワードの基礎ができる方。若干名。
日時 毎週木曜日 昼1時半～4時
場所 北市民プラザ 第一会議室
連絡先 藤田090 (4679) 3797

若葉テニスサークル若干名募集

ゲームを楽しめる方、一緒に汗を流してみませんか。水曜は基本をコーチが丁寧に指導していただけます。男女年齢は不問です。まずは体験にいらしてください。
日時 毎週水・金曜日 各2時間
場所 矢川コート・谷保コート
連絡先 山根 (573) 0566

第57回市民文化祭 開催中!

公民館をはじめ市内各施設で、美術展や伝統文化行事など、さまざまな催しが行われています。文化祭をきっかけに、活動の輪、仲間作りの輪を広げてみませんか。どなたでもお気軽にご参加ください!

◆11月中旬～12月の催し

- 11月：市民茶会、日本語学習者によるスピーチ、国際茶会、和奏とハーモニカの演奏会、三世代コーラス、くにたち絵画グループ展
 - 12月：市民総合美術展、クリスマスコンサート、長唄演奏会、民謡連盟秋季大会
- *詳細は公民館にある日程表や、国立市ホームページ、「公民館だより」9月号などをご覧ください。

〈社会体育事業〉

「街を・山を歩く」第3回目

日時 12月13日(木) ※雨天中止
集合 一橋大学西門前 朝9時
実施方面 東京ゲートブリッジ方面
対象 市内在住、在勤者
パンフレット 市役所3階生涯学習課、公民館、総合体育館、北・南市民プラザで11月28日(水)より配布します。内容を確認のうえ、11月29日(木)～12月7日(金)に下記までお申込みください。
申込・問合せ先 教育委員会 生涯学習課 社会教育・体育担当 ☎ (576) 2107 (直通)

国立俳句会

俳人協会(沖同人) 水上陽三先生指導の俳句会。超結社の句会で、ご参加をお待ちしています。熱気が来てしほ時をまた逃す(陽三)

日時 毎月第三金曜日

場所 公民館
連絡先 水上 (554) 6813

水泳会員募集 アクアクラブ

より健康な楽しい毎日を目指して泳いでみませんか。初めての人もさらに上手に美しく泳いでみたくも、4人のコーチがわかりやすく指導。男女問いません。
日時 毎週金曜日 朝10時～12時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 山元 (576) 2815

公民館運営審議会報告

10月9日(火) 第24回定例会を開催。委員12名、館長、職員2名が出席。傍聴4名。

前回の議事録確認

訂正等、指摘事項は特になし。

協議内容

○第28期の活動記録を承認。

○第28期公民館運営審議会報告

「国立市公民館運営審議会のあり方について(案)」の説明を委員

長から受けて協議。若干修正のうえ承認。

報告事項

○公民館だより編集研究委員会

10月3日開催。先月号から文字

の書体が変わったことに対しての

賛否さまざまな意見や、掲載写真

のキャプションに関する意見など

が出された。

○社会教育委員の会

9月18日実施。答申案について、意見交換を行った。

○東京都公民館連絡協議会

10月6日、委員部会第2回研修会を開催。西東京における活動報告他。来年2月に第3回研修会を

パネルディスカッションで開催予定。

○第28期公民館運営審議会が最終

回を迎え、参加委員一人ひとりから振り返り報告。

次回は11月13日(火)午後7時15分

から、第29期公民館運営審議会第

1回定例会を開催。傍聴歓迎。

(大塚)

ひろば

(3ページにもあります)

1月号の「ひろば」原稿
締切りは、印刷の都合に
より

12月2日(日)夕5時です。

異文化コミュニケーション

「WING」11月の定例会は、「トルコの文化と諸事情について」一橋大学留学生のジュレンさんにお話を聞きます。質疑応答が行き交う楽しい会にご参加ください。

日時 11月15日(木)夜7時～9時
場所 一橋大学内 国際交流会館
連絡先 芦沢(576) 0474

今月の公民館 (11月)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 8日(木)夜 くにたちブッククラブ
「岡本かの子『家霊』『老妓抄』」
- 11日(日)昼～*「ギリシャ彫刻を描く 作品展覧会」
- 24日(土)昼* 図書室のつどい「江戸の天文学」
- 24日(土)朝 親子で遊ぼう・考えよう「音楽に合わせてアクションペインティング！」
- 25日(日)昼* 公民館シネマトーク『モスラ対ゴジラ』

国立で市民エネルギーを作ろう

地域発！ 7代先に残す未来のつくり方2みんなのシンポジウム。竹村英明氏(ISEP顧問)の講演他地域エネルギーに取り組み団体等の座談会。エネシフクにたち

福島原発4号機の核燃料問題

地震と原発連続講座。4号機のプールには多くの核燃料が保管されています。米元原子力技術者アーニー・ガンダーゼン氏の講演記録上映。資料代500円。

日時 11月16日(金)夜7時～9時
場所 公民館 3階講座室
連絡先 実行委(576) 6075

墨絵の年賀状作り

賀状に一筆墨絵を添えてみませんか。主催 西福祉館運営委員会。講師 富樫廣志(水墨画)。先着20名。小筆のみ持参。火木土の午前に左記へお申込みください。

日時 11月16日(金)昼2時～4時
場所 西福祉館 1階和室
連絡先 西福祉館(573) 9926

中央大学学術講演会

演題 世界のワインと日本のワイン 日本ワインの特殊性。講師 原田喜美枝(商学部教授)、主催 中央大学。共催 中央大学学生会 国立支部。資料代500円。

日時 11月18日(日)昼3時
場所 せきやビル 7階ホール
連絡先 石井(572) 0185

「シエーナウの想い」上映会

南独の小さな町でチェルノブイリの危機から親たちが自然エネルギーによる電力会社を立ち上げた。上映後、希望者はトークタイムに参加できます。子連れ歓迎。

玲琳会尺八演奏会

玲琳会は国立市で教室を開いていた都山流尺八楽の第一人者、故小池玲山師の弟子で構成されています。秋のひとときを尺八の音色でお楽しみください。入場無料

日時 11月17日(土)昼1時半開演
場所 芸小ホール スタジオ
連絡先 小林(577) 7600

一橋大学附属図書館企画展示

企画展示「旅する高商生たち」明治・大正期の修学旅行報告書」を開催。戦前の一橋生が執筆した調査報告書を展示します。11月10・11日は閉室。入場無料。

日時 11月1～16日9時半～17時
場所 附属図書館公開展示室
連絡先 一橋大(図)(580) 8252

憲法とわたしたち連続講座No.39

今回は日本国憲法第九八条第二項の「条約」「国際法規」について学びます。講師は国立在住のジャーナリスト西川重則氏です。資料代500円。

日時 11月23日(金)夜6時半～9時
場所 公民館 3階講座室
連絡先 同実行委(574) 9210

〈サークル訪問254〉

「源氏物語を読む会」

「春深くなりゆくまに、御前の有様にしへに変わらぬを、めで給ふ方にはあらねど……」源氏物語「幻」の巻の一節である。

取材に何ってまず耳にしたのは、メンバー全員で読むこうした美しい原文であった。区切りがつかないところで、今度は一人ずつ交代で口語訳を読み、内容を確かめる。注釈を参照し、皆で所感を述べ合う。そして次の章へ進んでいく。

このようにして最初の「桐壺」の巻から今まで14年間にわたって読み進めてこられたという。女性中心の息の長いサークルである。もともとは、公民館での源氏物語



〈文・写真 武内法行〉

紫式部の世界に浸りながら「それにして光源氏という男は……」

語の講座への参加がきっかけで、それが終了した後、有志10名ほどが集まってこの会が発足(1998年)した由。源氏物語五十四帖全編を読むのが目標だそうです。耳をすましてみると、原文の何ともいえない響きの豊かさに比べ、口語訳は意味は鮮明なもの、随分平板に聞こえる。メンバーを魅了してやまないのは、この古典文

の伝えてくる季節感や色彩、雰囲気、人の感情の微妙さ、優雅さだろうか、と思えたことであった。これから物語は、光源氏が亡くなり、後の「宇治十帖」に入るそうであるが、「月一回の集まりなのでまだまだ続きます」とのこと。

源氏物語は日本文学の最高峰であり、今に至るもこれを超える作品は現れていない、とは川端康成をはじめ多くの文人の言うところである。

この会は、その「源氏」を自分たちで読み通したいという有志の集まりである。現在6人の女性が月1回金曜午後(不定期)に公民館に集まり、会を続けている。

「幻」とそれに続く三巻がもう少しで終わり、「宇治十帖」に入る前の区切りの良いところなので、入会希望の方はどうぞご連絡をとのことである。

連絡先 藤原(573) 0681